



風しん抗体検査のお知らせ 44歳～61歳の男性の皆さんへ

「風しん」は、風しんウイルスによっておこる急性の感染症です。発熱や咳、発疹等が主な症状で、非常に強い感染力をもち、症状が出る前や無症状でも、人から人へうつる可能性があります。「風しん」の予防には予防接種が最も有効な方法ですが、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の方は、定期予防接種の対象にならなかったため、国の対策により**抗体検査(令和7年2月28日まで)**と、必要に応じて**ワクチン接種(令和7年3月31日まで)**が受けられます(原則無料1人1回のみ)。

対象者

過去に、一度も検査を受けたことのない
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生
まれの男性

クーポン送付時期

令和6年3月末に送付済



検査・接種の流れ

- ①風しん抗体検査実施医療機関へ検査の予約をする
- ②検査の結果…

《1》風しん抗体価が基準値より「高い」場合

- ➔ 予防接種の対象外(十分な免疫を保有しています)
- ➔ 終了

《2》風しん抗体価が基準値より「低い」場合

- ➔ 予防接種の対象 ➔ 医療機関に接種の予約をする
- ➔ ワクチン接種 ➔ 終了

HPVワクチンのキャッチアップ接種のお知らせ

子宮頸がんは、年間約1万人がかかり、約2,700人が死亡する病気で、20代から30代で増加しているのが特徴です。子宮頸がんの発生にはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関連しており、性交渉で感染します。多くの場合は、HPVに感染しても免疫により排除されますが、排除されずに感染が続くと、異形成という前がん状態を経て、子宮頸がんを発症すると言われていています。子宮頸がんワクチンを接種されていない平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性が公費(無料)で接種を受けられるのは**令和7年3月31日**までです。接種対象となる方および保護者の皆さんには、子宮頸がんワクチンについて、ワクチンの効果・リスクについてご理解いただき、接種をご検討ください。

《詳しくはこちら》



▲厚労省ホームページ



▲市ホームページ

対象者

過去に、この予防接種を一度も受けたことのない平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性

※予診票が必要な方は健康づくり推進課へ母子手帳を持参の上、申請してください。

接種期間・接種回数

令和7年3月31日まで/接種回数3回

※完了するまでに約6カ月間かかるため、接種をご希望の方はお早めの接種をご検討ください。

接種費用
全額公費負担
(無料)

※高校1年生(平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ)の女性の方の接種期限も令和7年3月31日までとなっています。接種を完了するまでに約6カ月間かかるため、接種をご希望の方はお早めの接種をご検討ください。